

第 28 回通常総会

2022 年 3 月 14 日（月）

一般社団法人 言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

第 28 回通常総会次第

日時 2022 年 3 月 14 日（月） 11 時 00 分～12 時 00 分

会場 アクトシティ浜松 コンgressセンター 52 会議室

総会次第

第 1 号報告 2021 年度事業報告

第 1 号議案 2021 年度決算報告

第 2 号報告 2021 年度監査報告

第 3 号報告 2022 年度事業計画

第 4 号報告 2022 年度予算案

第 2 号議案 定款の一部変更

第 3 号議案 理事の選任

第 4 号議案 監事の選任

第 5 号報告 2022 年度代議員構成

以上

2021 年度事業報告

1. 概要

言語処理学会の主要な活動として、論文誌「自然言語処理」の発行および年次大会の開催を計画通りに進めました。「自然言語処理」に関しては、第 28 巻の 1 号から 4 号を発行しました。第 27 回年次大会は、2021 年 3 月 15 日(月)から 19 日(金)まで、オンラインで開催しました。

2. 会員現況

正会員	1042 名 (+37) [うちシニア会員 20 名 (±0)]
学生会員	465 名 (+121)
賛助会員	34 組織 (+4), 35 口 (+4)
特殊購読会員	廃止により 0

(2021 年 12 月 31 日現在, 増減は 2020 年 12 月 31 日との比較)

なお, 定款第 11 条 1 項 2 号にもとづき, 会費を 1 年以上滞納した会員 152 名(正会員 58 名(うちシニア会員 0 名), 学生会員 94 名)については, その会員資格を喪失したものとして扱います。

3. 会誌の発行

第 28 巻第 1 号 (2021 年 3 月 15 日発行, 通巻 127 号)

巻頭言, 一般論文 10 編, 学会記事 8 編, 賛助会員記事 1 編, 編集後記, 会告

第 28 巻第 2 号 (2021 年 6 月 15 日発行, 通巻 128 号)

巻頭言, 一般論文 14 編, 学会記事 11 編, 編集後記, 会告

第 28 巻第 3 号 (2021 年 9 月 15 日発行, 通巻 129 号)

巻頭言, 追悼 3 編, 一般論文 5 編, 学会記事 9 編, 編集後記, 会告

第 28 巻第 4 号 (2021 年 12 月 15 日発行, 通巻 130 号)

巻頭言, 一般論文 12 編, 応用システム論文 1 編, 学会記事 7 編, 賛助会員記事 1 編, 編集後記, 会告

4. 第 27 回年次大会の開催

◇ 開催日: 2021 年 3 月 15 日(月)～3 月 19 日(金)

◇ 会場: 北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)

現地会場への入場は運営者と講演者の一部に限らざるを得ず, 事実上のオンライン開催となったものの, 部分的に現地のホールからの配信をするなど, 今後のハイブリッド開催に繋がる形を作った。また, 第 26 回大会の緊急対応時と異なり, 予定されていた全てのプログラムを実施することができた。

◇ プログラム

■本会議 (3 月 16 日 -- 18 日)

一般セッション(口頭発表, ポスター), テーマセッション合わせて 361 件の投稿があり, その全てが

オンラインで発表された。発表数の内訳は次の通り。口頭発表、ポスター発表を同時に行うことにより、口頭発表の並列数を 5 に減らすとともに、休み時間を長めにするなどプログラムに余裕を持たせた。

- ・口頭発表(一般) 164 件
- ・口頭発表(テーマセッション) 12 件
- ・ポスター発表 183 件

■テーマセッション(3 月 16 日・17 日)

公募により設定された以下の 2 件のテーマセッションを開催した。

- ・言語教育と言語処理の接点(発表 6 件+討論)
- ・翻訳プロセスの解剖と翻訳テクノロジー(発表 6 件+討論)

■招待講演(3 月 16 日・17 日)

下記の 2 名の先生をお招きし、招待講演を実施した。

- ・水本 篤 先生(関西大学)
言語教育が自然言語処理に期待すること
- ・松本 裕治 先生(理化学研究所)
知識と言語処理

■招待論文講演(3 月 18 日)

会誌「自然言語処理」に発表された論文の中から選出された以下の 4 件の論文についての発表が行われた。

- ・Encoder-Decoder Attention $\neq$ Word Alignment: Axiomatic Method of Learning Word Alignments for Neural Machine Translation
Chunpeng Ma, Akihiro Tamura, Masao Utiyama, Tiejun Zhao and Eiichiro Sumita
Vol.27, No.3, pp. 531-552
- ・Character-to-Word Attention for Word Segmentation
Shohei Higashiyama, Masao Utiyama, Eiichiro Sumita, Masao Ideuchi, Yoshiaki Oida, Yohei Sakamoto, Isaac Okada and Yuji Matsumoto
Vol.27, No.3, pp. 499-530
- ・Syntax-based Transformer for Neural Machine Translation
Chunpeng Ma, Akihiro Tamura, Masao Utiyama, Eiichiro Sumita and Tiejun Zhao
Vol. 27, No.2, pp. 445-466
- ・論述構造解析におけるスパン分散表現
栗林樹生, 大内啓樹, 井之上直也, 鈴木潤, Paul Reisert, 三好利昇, 乾健太郎
Vol. 27, No.4, pp. 753-780

■チュートリアル(3 月 15 日)

- ・ガウス過程と自然言語処理
持橋 大地 先生(統計数理研究所)
- ・NLP が目指すこと, 心理言語学が目指すこと
広瀬 友紀 先生(東京大学)
- ・深層学習の理論
鈴木 大慈 先生(東京大学/理化学研究所)
- ・文献学への自然言語処理技術の応用 ―スペイン語文献を例にして―
川崎 義史 先生(東京大学)

■スポンサーイブニング(3月15日)

スポンサーと参加者との交流を目的としてオンラインで開催した。学生を中心に200名を超える参加があり、スポンサーのブースの紹介に活用された。

■懇親会(3月17日)

オンラインで開催し、のべ300名を超える参加者が集まった。前半は8グループに分かれたリクリエーション、後半は懇談を行った。

■ワークショップ(3月19日)

3年ぶりにワークショップの募集を行い、以下の4件の応募があり、いずれも予定通り実施された。

- ・クリエイティブ AI が会話型 AI と出会うとき(When creative AI meets conversational AI)
- ・AI 王 ～クイズ AI 日本一決定戦～
- ・文章の評価と品質推定～人間・機械の「作文」の巧拙をどう見極めるか?～
- ・若手研究者交流のニューノーマルを考える

◇ 新たな施策(抜粋)

- ・領収書を電子化し、事前登録期間終了後にも直前登録の期間を設けるなど、参加登録をオンラインで完結させた。
- ・スポンサー賞・委員特別賞・さらに臨時の年次大会功績賞を新設し、選奨の幅を広げた。
- ・論文のスタイルファイルを公開し、執筆と審査の両面に寄与した。
- ・会期中の Slack の利用を前回以上に促進し、非常に活発な交流が行われた。
- ・チュートリアル・招待講演の後に「質問部屋」を設置し、質疑応答・交流の機会を増やした。

◇各種表彰

例年通り、言語処理学会からの「最優秀賞」「優秀賞」「若手奨励賞」、および言語資源協会(GSK)と言語処理学会の共同表彰事業としての「言語資源賞」を授与した。さらに今大会では、「スポンサー賞」「委員特別賞」「年次大会功績賞」を新設した。

■ 大会賞(優秀賞・若手奨励賞)

言語処理学会年次大会の規定に基づき、227名による選考委員会により厳正な審査を行い、以下を選出した。それぞれの選奨の理由は既発行のニューズレターを参照のこと。

* 最優秀賞 (2件:発表番号順)

- A5-1 VisualMRC: 文書画像に対する機械読解
田中涼太, 西田京介, 吉田仙 (NTT)
- P5-2 Recurrent neural network grammar の並列化
能地宏 (産総研), 大関洋平 (東大)

* 優秀賞 (6件:発表番号順)

- P4-6 児童作文の評価に向けた脱文脈化観点からの検討
田中弥生 (神大/国語研), 佐尾ちとせ (関西学院千里国際中等部・高等部), 宮城信 (富山大)
- B5-1 関連タスクの予測確率分布を用いる soft-gatedBERT による対話印象分類
竹下智章, 上垣外英剛, 船越孝太郎 (東工大), 高村大也 (東工大/産総研), 奥村学 (東工大)
- A7-1 単語埋め込みの確率的等方化
横井祥 (東北大/理研), 下平英寿 (京大/理研)

A7-3 単語埋め込みの決定的縮約

仲村祐希（東北大）、鈴木潤、高橋諒、乾健太郎（東北大/理研）

A7-4 階層コード表現を用いた上位下位関係の識別

水木栄、岡崎直観（東工大）

B9-4 共同図形配置課題における対話の共通基盤構築過程の分析

光田航、東中竜一郎（NTT）、大賀悠平（筑波大）、杵渕哲也（NTT）

＊ 若手奨励賞（11 件:発表番号順）

E1-4 日本語文法誤り訂正におけるデータ増強および評価データ構築

加藤秀佳（同志社大）

C2-4 再帰的ニューラルネットワーク文法による人間の文処理のモデリング

吉田遼（東大）

D3-2 後段モデルの損失値を用いた単語分割のタスクへの最適化

平岡達也（東工大）

B5-4 潜在変数の投機的サンプリングに基づく多様な雑談応答生成

佐藤翔悦（東大）

P5-9 疑似正解データを利用した修辞構造解析器の改善

小林尚輝（東工大）

B6-3 トピック文生成による教師なし意見要約

磯沼大（東大）

A7-2 Transformer の文脈を混ぜる作用と混ぜない作用

小林悟郎（東北大）

C7-3 BERT を用いた Table-Filling による固有表現抽出と関係抽出

Youmi Ma（東工大）

D8-1 画像と単語の不一致を考慮した疑似教師ありキャプション生成

本多右京（NAIST）

P8-21 相互情報量最小化による例文に基づく制御可能な言い換え生成

杉浦昇太（東大）

E9-2 定理証明に基づく対話的な自然言語推論システム

隅田敦（東大）

■ 言語資源賞

言語資源賞は、論文投稿時に審査希望とした 76 件より GSK の審査員が審査し、今大会では以下の 2 件が選出された。

P7-10 ビジネスシーン対話対訳コーパスの構築と対話翻訳の課題

中澤敏明、李凌寒、Matiss Rikters（東大）

E8-3 日本語 Wikipedia の編集履歴に基づく入力誤りデータセットと訂正システムの改良

田中佑、村脇有吾（京大）、河原大輔（早大）、黒橋禎夫（京大）

■ スポンサー賞

5 社のスポンサー企業から独自の視点でそれぞれ 1 件の論文を選出していただいた。

＊ 富士通賞

D9-2 言い換えラティスを用いたテキスト生成の性能改善

西原大貴（阪大）、梶原智之（愛媛大）、荒瀬由紀（阪大）、藤田篤（NICT）

＊ LegalForce 賞

E9-2 定理証明に基づく対話的な自然言語推論システム
隅田敦（東大）、峯島宏次（慶應大）、宮尾祐介（東大）

＊ デンソーアイティラボラトリ賞

A7-3 単語埋め込みの決定的縮約
仲村祐希（東北大）、鈴木潤、高橋諒、乾健太郎（東北大/理研）

＊ サイバーエージェント賞

B6-4 指定語句を確実に含む見出し生成
山田康輔（名大/朝日新聞社）、人見雄太、田森秀明（朝日新聞社）、
岡崎直観（東工大）、乾健太郎（東北大/理研）

＊ Sansan DSOC 賞

C8-3 辺編集による文書レベルの関係グラフ構築
牧野晃平、三輪誠、佐々木裕（豊田工大）

■ 委員特別賞

委員特別賞は、「ある特定の観点で光る論文を拾い上げたい」「多様な論文に光を当てたい」「論文の完成度よりも将来性を重視したい」といった理念のもと、大会賞とは異なる観点で優れた論文を表彰する試みで、大会賞の審査の項目点および座長による発表に対する評価を基準として、委員特別賞選考委員により 14 件を選出した。

A1-4 極座標を用いた階層構造埋め込み

岩本蘭（慶應大）、小比田涼介、和地瞭良（日本 IBM）

C2-3 予測の正確な言語モデルがヒトらしいとは限らない

栗林樹生（東北大/Langsmith）、大関洋平（東大/理研）、
伊藤拓海（東北大/Langsmith）、吉田遼（東大）、浅原正幸（国語研）、
乾健太郎（東北大/理研）

D2-4 歌詞のサビ区間検出手法

渡邊研斗、後藤真孝（産総研）

P2-14 オンライン百科辞典を対象とする有効期限切れ情報データベースの作成

土屋雅稔、横井康孝（豊橋技科大）

D4-3 項目採点技術に基づいた和文英訳答案の自動採点

菊地正弥、尾中大介、舟山弘晃、松林優一郎、乾健太郎（東北大/理研）

P4-16 知識グラフ埋め込み学習における損失関数の統一的解釈

上垣外英剛（東工大）、林克彦（群馬大）

A5-4 オープンドメイン質問応答における解答可能性判別の役割

鈴木正敏（東北大/理研）、松田耕史、大内啓樹（理研/東北大）、鈴木潤、
乾健太郎（東北大/理研）

A6-3 単語埋め込みによる論理演算

内藤雅博（京大）、横井祥（東北大）、下平英寿（京大）

B6-4 指定語句を確実に含む見出し生成

山田康輔（名大/朝日新聞社）、人見雄太、田森秀明（朝日新聞社）、
岡崎直観（東工大）、乾健太郎（東北大/理研）

D8-4 視覚と言語によるナビゲーション課題への言語に対応付けられた生成的な方策

栗田修平（理研/JST）、Kyunghyun Cho（NYU/CIFAR）

E8-3 日本語 Wikipedia の編集履歴に基づく入力誤りデータセットと訂正システムの改良

田中佑、村脇有吾（京大）、河原大輔（早大）、黒橋禎夫（京大）

P8-11 動的な環境における基盤化タスク設計の試み

宇田川拓真 (東大), 相澤彰子 (NII)

P8-16 翻訳精度に基づく固有名詞の翻訳手法の研究

高井公一 (NAIST), 服部元, 米山暁夫 (KDDI 総合研究所), 安田圭志, 須藤克仁,
中村哲 (NAIST)

B9-1 対話システムの矛盾応答の生成に対する脆弱性の分析

佐藤志貴 (東北大), 赤間怜奈 (東北大/理研), 大内啓樹 (理研), 鈴木潤,
乾健太郎 (東北大/理研)

■ 年次大会功績賞

年次大会を開催／運営するに際して、特別に貢献の大きかった人物に感謝を伝えるために、以下の2名を表彰した。

NLP2020 におけるオンライン開催緊急対応に対する貢献

白井清昭 (北陸先端大)

投稿論文用フォーマット/スタイルファイル作成に対する貢献

朝倉卓人 (東大)

◇ 総括

第 27 回年次大会を盛況に開催することができた。昨年からのパンデミックの状況により、大会への参加どころか研究活動や各種ビジネスの遂行にも支障が出かねない中、議論や交流の場である大会が縮小することがなきよう、分野の関係者の関心を保ち続けることを念頭において準備を進めてきた。結果として、非常に多くの発表と企画、スポンサー、そして参加者を集めることができた。

また、オンラインでの開催であっても、議論や出会いを促進し、参加者にとって特別な一週間となることを目標として工夫をしてきた。NLP2020 の時に考案されたオンラインの環境がさらに整備され、Zoom の上で発表はスムーズに行われた。Slack は参加者の自己紹介やセッションの議論に活用された。公式の懇親会に加えて、参加者により自発的に作られた場においても、雑談や研究コミュニティ形成が行われるなど、大会の期間にこそできる会話がなされていた。

こうして、NLP2020, NLP2021 と、困難な状況の中であっても大会を開催し、自然言語処理に関係する人々が集まる大切な場所を保つことができた。言語処理学会の方法は他の学会からも参考にされているようである。これらの成功は、大きすぎず小さすぎない学会の規模によるものかもしれないが、研究者自身がそれぞれ自分たちの活動の場所のために企画をしているという風土が感じられ、これは学会として誇れるものであると考えている。

5. ニュースレターの発行

2021 年にはニュースレター Vol.28 No.2 と No.3 を発行し、学会運営、大会案内、大会優秀賞、論文賞、言語処理技術セミナー開催などについて会員の皆さまへの情報提供を行いました。

6. 理事会の開催

計 7 回の理事会を開催し、入退会会員の承認、事業計画、予算、論文賞選考、年次大会の方針、年次大会優秀賞、ニュースレター発行、関連学会等への協賛等について審議し決定しました。また、言語処理技術セミナーの開催や学会運営についても議論しました。

理事会開催:

第 140 回 (2021 年 1 月 20 日, オンライン)

第 141 回 (2021 年 2 月 18 日, オンライン)

第 142 回 (2021 年 3 月 15 日, オンライン)

第 143 回 (2021 年 5 月 27 日, オンライン)

第 144 回 (2021 年 7 月 20 日, オンライン)

第 145 回 (2021 年 9 月 16 日, オンライン)

第 146 回 (2021 年 11 月 16 日, オンライン)

7. 編集委員会

◇編集委員会の会議

2021 年は, オンライン編集委員会を 2 回開催したほか, 随時, メール審議の形式で編集委員会を開催し, 採否決定の一層の迅速化に努めました.

編集委員会開催:

第 104 回 (2021 年 3 月 22 日, 遠隔会議 (Zoom))

第 105 回 (2021 年 9 月 27 日, 遠隔会議 (Zoom))

◇英文校正サービス

2021 年掲載論文について, 10 件の論文のタイトルと概要の英文校正ならびに 13 件の英文論文の本文の英文校正を実施しました.

◇2021 年度論文賞の選考

2021 年に出版された自然言語処理 28 巻 1 号から 4 号に掲載された論文 42 編より, 編集委員会が賞に相応しい論文を推薦することを目標として, 実施しました. 選考は以下の手続きで実施し, 一次投票は浅原正幸副編集長を選考委員長として編集委員 35 名が, 二次投票は内山将夫編集委員長を選考委員長として編集委員 15 名が, それぞれ選考委員会を編成して審査を行いました.

(最優秀論文賞)

最優秀論文賞 1 件につきましては年次大会の招待論文セッションで発表いたします.

(論文賞)

著者名: Hidetaka Kamigaito, Katsuhiko Hayashi, Tsutomu Hirao, Masaaki Nagata and Manabu Okumura

論文タイトル: Effectiveness of Syntactic Dependency Information for Higher-Order Syntactic Attention Network

発行巻号頁: Vol.28 No.2, pp.321-349

著者名: 平岡 達也, 高瀬 翔, 内海 慶, 樗 惇志, 岡崎 直観

論文タイトル: テキストベクトルの重みづけを用いたタスクに対する単語分割の最適化

発行巻号頁: Vol.28 No.2, pp.479-507

著者名: 小林 颯介, 横井 祥, 鈴木 潤, 乾 健太郎

論文タイトル: 訓練事例の影響の軽量の推定

発行巻号頁: Vol.28 No.2, pp.573-597

著者名: 村上 聡一郎, 田中 天, 萩行 正嗣, 上垣外 英剛, 船越 孝太郎, 高村 大也, 奥村 学

論文タイトル: 数値気象予報からの天気予報コメントの自動生成

発行巻号頁: Vol.28 No.4, pp.1210-1246

◇自然言語処理の電子化

創刊号から全ての論文が電子化され, J-STAGE で公開されています. また, 論文誌の紙媒体発行を 2020 年末で終了しました. 2021 年以降本誌発行日当日に J-STAGE で電子的に公開され

ています.

◇論文掲載数および投稿数

2021 年は, 通常号 4 号を出版し, 総計 42 編の論文を刊行しました. 「自然言語処理」への 2021 年の通常論文投稿数は, 昨年の 1.3 倍の 58 編でした.

◇「出版倫理と不正行為に関する声明」の掲載

本誌の国際化を進めることを目的として, 「出版倫理と不正行為に関する声明」を明示的に Web サイトに掲載しました.

8. 助成, 協賛, 後援

以下の会議への助成, 協賛, 後援を行いました.

- (1) 第 12 回産業日本語研究会・シンポジウム (後援)
オンライン 2021 年 3 月 5 日
- (2) 第 30 回 JTF 翻訳祭 2021 (後援)
オンライン 2021 年 10 月 6 日~20 日
- (3) IDR ユーザフォーラム 2021 (後援)
オンライン 2021 年 11 月 22 日
- (4) 人工知能学会 合同研究会 2021 (協賛)
オンライン 2021 年 11 月 26 日~27 日
- (5) 第 20 回ロボット聴覚システム HARK 講習会 (協賛)
オンライン 2021 年 11 月 27 日

9. その他

産業界向けのイベントとして, 昨年に引き続き, 言語処理技術セミナーを開催しました. 2021 年 10 月 22 日にオンラインにて開催し, 高村大也先生(産総研), 石渡祥之佑先生(Mantra), 佐藤敏紀先生(LINE)にご講演いただきました. 言語処理学会会員および学生(非会員含む)は無料として開催し, 407 名の方々にご参加いただきました.

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2021年 1月 1日から2021年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[11,224,000]	[11,184,000]	[40,000]	
正会員受取会費	(8,088,000)	(7,808,000)	(280,000)	
正会員当年度	7,912,000	7,680,000	232,000	@8,000円×960名
正会員過年度	96,000	48,000	48,000	@8,000円×6名
正会員(シニア)当年度	80,000	80,000	0	@4,000円×20名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(1,436,000)	(1,676,000)	(-240,000)	
学生会員当年度	1,424,000	1,664,000	-240,000	@4,000円×416名
学生会員過年度	12,000	12,000	0	@4,000円×3名
賛助会員受取会費	(1,700,000)	(1,700,000)	(0)	
賛助会員当年度	1,650,000	1,700,000	-50,000	1口50,000円×34口
賛助会員過年度	50,000	0	50,000	
特殊購読会員受取会費	(0)	(0)	(0)	
0	0	0	0	廃止のため0
事業収益	[20,464,000]	[20,251,630]	[212,370]	
学術研究事業(年次大会)	(17,464,000)	(16,961,630)	(502,370)	
年次大会参加費	11,064,000	7,872,000	3,192,000	
年次大会懇親会費	0	0	0	
年次大会協賛・広告	5,400,000	8,050,000	-2,650,000	
年次大会助成・補助	1,000,000	1,039,630	-39,630	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,000,000)	(3,290,000)	(-290,000)	
論文誌広告料	0	40,000	-40,000	完全電子化で広告廃止(決算額は前年度発行の分)
掲載料	2,300,000	3,070,000	-770,000	別刷り代の代わりに掲載料。決算額は主に27巻4号～28巻3号分。
雑誌頒布収益	0	0	0	完全電子化により0円
産業界向けイベント参加費	700,000	180,000	520,000	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	
雑収益	[73,231]	[118,335]	[-45,104]	
受取利息	264	267	-3	
雑収益	72,967	118,068	-45,101	著作権使用料、言語処理学辞典印税
経常収益計	31,761,231	31,553,965	207,266	
(2) 経常費用				
事業費	[23,596,645]	[21,298,928]	[2,297,717]	
年次大会開催費	(17,366,645)	(13,060,059)	(4,306,586)	
年次大会運営サポート費	8,787,900	8,745,440	42,460	
受付代行費	1,648,784	1,431,011	217,773	
資料作成費(印刷費)	158,400	119,130	39,270	
コンファレンスバック代	0	0	0	
プログラム委員会費	596,436	361,908	234,528	STARTシステム利用料、ウェブ作業費
年次大会会場費	4,575,609	1,262,335	3,313,274	
年次大会人件費	0	0	0	
年次大会講師謝金等	400,000	234,120	165,880	
論文賞招待旅費	200,000	0	200,000	
代議員会等会議費	70,000	0	70,000	
表彰関係費	339,516	462,810	-123,294	賞金(最優秀3万,優秀2万,若手1万)+賞状印刷費、ホルダー代
年次大会懇親会費	0	0	0	
実施委員会費	500,000	141,910	358,090	NLP2021現地視察旅費
託児委託費	0	0	0	
年次大会雑費	90,000	301,395	-211,395	講師謝礼ほか
普及啓発事業	(6,230,000)	(8,238,869)	(-2,008,869)	
論文誌印刷費	0	0	0	完全電子化により0円
論文誌通信運搬費	10,000	990	9,010	完全電子化により0円(+バックナンバー分)
論文誌編集費	2,900,000	4,496,360	-1,596,360	論文数・ページ数が増加。前年度印刷費用に一部含まれていた編集費用が加算
論文誌電子化費用	120,000	455,950	-335,950	論文数・ページ数が増加。今年度は過去号の通しPDF作成費もあり。
編集委員会費	350,000	516,712	-166,712	査読・執筆謝礼、「出版倫理と不正行為に関する声明」翻訳費用(55,000円)
編集事務局費	1,200,000	1,167,707	32,293	編集事務局給与
特殊購読・雑誌頒布経費	0	0	0	完全電子化により0円
論文誌活性化支援	300,000	629,392	-329,392	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	250,000	219,750	30,250	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	0	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	0	0	0	
産業界向けイベント開催費	1,000,000	752,008	247,992	COLING2016寄付金の活用(2021は無し)
普及啓発事業雑費	0	0	0	
管理費	[4,587,974]	[4,198,158]	[389,816]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	(160,000)	(202,114)	(-42,114)	2年ごと(奇数年)
業務委託費	(2,942,500)	(2,920,500)	(22,000)	
学会事務委託費	2,530,000	2,530,000	0	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	0	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	396,000	374,000	22,000	
社労士報酬	16,500	16,500	0	2020から税理士報酬より分離
司法書士報酬	0	0	0	理事変更登記,約10万円,2年ごと(偶数年)
会費集金費	(581,744)	(646,684)	(-64,940)	
通信運搬費	(43,284)	(77,638)	(-34,354)	
租税公課	(673,600)	(244,200)	(429,400)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(47,753)	(39,083)	(8,670)	
HP関連経費	(76,632)	(63,103)	(13,529)	
経費	(62,461)	(4,836)	(57,625)	総会資料作成費、労働保険料ほか
経常費用計	28,184,619	25,497,086	2,687,533	
当期経常収支差額	3,576,612	6,056,879	-2,480,267	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	3,576,612	6,056,879	-2,480,267	
一般正味財産期首残高	58,336,560	56,894,538	1,442,022	
一般正味財産期末残高	61,913,172	62,951,417	-1,038,245	

貸借対照表

2021年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	66,621,400
未収金	0
前払金	4,458,513
流動資産合計	71,079,913
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	2,113,496
前受金	55,000
前受会費	5,960,000
負債合計	8,128,496
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	62,951,417
正味財産合計	62,951,417
負債及び正味財産合計	71,079,913

財産目録

2021年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管 銀行預金 ゆうちょ振替口座 みずほ銀行 ゆうちょ総合口座	運転資金として	32,942 66,588,458 35,819,162 23,232,328 7,536,968 0
未収金 前払金		次年度大会開催費	4,458,513
資産合計			71,079,913
(流動負債)			
未払金 前受金 前受会費 前受正会員 前受学生会員 前受賛助会費 前受正会員（シニア）会費		事務費、論文誌編集 費、代議員選挙費用 次年度大会スポンサー料	2,113,496 55,000 5,960,000 4,356,000 544,000 1,000,000 60,000
負債合計			8,128,496
正味財産			62,951,417

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書として記載すべき事項はありません。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2021年 1月 1日から2021年12月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	備考
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	[11,184,000]	
正会員受取会費	(7,808,000)	
正会員当年度	7,680,000	@8,000円×960名
正会員過年度	48,000	@8,000円×6名
正会員(シニア)当年度	80,000	@4,000円×20名
正会員(シニア)過年度	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(1,676,000)	
学生会員当年度	1,664,000	@4,000円×416名
学生会員過年度	12,000	@4,000円×3名
賛助会員受取会費	(1,700,000)	
賛助会員当年度	1,700,000	1口50,000円×34口
賛助会員過年度	0	
特殊購読会員受取会費	(0)	
	0	廃止のため0
事業収益	[20,251,630]	
学術研究事業(年次大会)	(16,961,630)	
年次大会参加費	7,872,000	
年次大会懇親会費	0	
年次大会協賛・広告	8,050,000	
年次大会助成・補助	1,039,630	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,290,000)	
論文誌広告料	40,000	完全電子化で広告廃止(決算額は前年度発行の分)
掲載料	3,070,000	別刷り代の代わりに掲載料。決算額は主に27巻4号～28巻3号分。
雑誌頒布収益	0	完全電子化により0円
産業界向けイベント参加費	180,000	
受取補助金等	[0]	
雑収益	[118,335]	
受取利息	267	
雑収益	118,068	著作権使用料、言語処理学辞典印税
経常収益計	31,553,965	
(2) 経常費用		
事業費	[21,298,928]	
年次大会開催費	(13,060,059)	
年次大会運営サポート費	8,745,440	
受付代行費	1,431,011	
資料作成費(印刷費)	119,130	
コンファレンスバック代	0	
プログラム委員会費	361,908	STARTシステム利用料、ウェブ作業費
年次大会会場費	1,262,335	
年次大会人件費	0	
年次大会講師謝金等	234,120	
論文賞招待旅費	0	
代議員会等会議費	0	
表彰関係費	462,810	賞金(最優秀3万,優秀2万,若手1万)+賞状印刷費、ホルダー代
年次大会懇親会費	0	
実施委員会費	141,910	NLP2021現地視察旅費
託児委託費	0	
年次大会雑費	301,395	講師謝礼ほか
普及啓発事業	(8,238,869)	
論文誌印刷費	0	完全電子化により0円
論文誌通信運搬費	990	完全電子化により0円(+バックナンバー分)
論文誌編集費	4,496,360	論文数・ページ数が増加。前年度印刷費用に一部含まれていた編集費用が加算
論文誌電子化費用	455,950	論文数・ページ数が増加。今年度は過去号の通しPDF作成費もあり。
編集委員会費	516,712	査読・執筆謝礼、「出版倫理と不正行為に関する声明」翻訳費用(55,000円)
編集事務局費	1,167,707	編集事務局給与
特殊購読・雑誌頒布経費	0	完全電子化により0円
論文誌活性化支援	629,392	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	219,750	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	0	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	
国際会議参加支援費	0	COLING2016寄付金の活用(2021は無し)
産業界向けイベント開催費	752,008	
普及啓発事業雑費	0	IMT分担金等、弁護士相談料

科 目	決算額	備考
管理費	[4,198,158]	
法人設立費用	0	
代議員選挙費用	(202,114)	2年ごと(奇数年)
業務委託費	(2,920,500)	
学会事務委託費	2,530,000	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	374,000	
社労士報酬	16,500	2020から税理士報酬より分離
司法書士報酬	0	理事変更登記,約10万円,2年ごと(偶数年)
会費集金費	(646,684)	
通信運搬費	(77,638)	
租税公課	(244,200)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(39,083)	
HP関連経費	(63,103)	
雑費	(4,836)	総会資料作成費、労働保険料ほか
経常費用計	25,497,086	
当期経常収支差額	6,056,879	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外収支差額	0	
当期一般正味財産増減額	6,056,879	
一般正味財産期首残高	56,894,538	
一般正味財産期末残高	62,951,417	

●上記の通り報告いたします。

一般社団法人言語処理学会財務理事

山下 達雄



一般社団法人言語処理学会財務理事

富士 秀



●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

一般社団法人言語処理学会 監 事

落谷 亮



一般社団法人言語処理学会 監 事

田中英輝



2022年 2月 1日

監査報告書

2022年2月1日

一般社団法人 言語処理学会

会長 奥村 学 殿

一般社団法人 言語処理学会

監 事 落 谷 亮 
監 事 田 中 英 輝 

私たちは2021年1月1日から2021年12月31日までの2021年度における
一般社団法人言語処理学会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査
手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会への出席、理事からの報告の聴取、関係書類の
閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、
法人の財政状況を正しくしめしているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上

2022 年度事業計画

1. 運営・活動方針

論文誌「自然言語処理」の発行、年次大会・言語処理技術セミナーの開催など、当会の目的に沿った運営・活動を進めます。また、学会活動を支える IT インフラの整理・拡充に着手する他、2024 年 4 月に迎える学会 30 周年の記念事業についても準備を開始します。

2. 会誌の発行

- ・第 29 巻第 1 号(2022 年 3 月中旬発行予定, 通巻 131 号)
- ・第 29 巻第 2 号(2022 年 6 月中旬発行予定, 通巻 132 号)
- ・第 29 巻第 3 号(2022 年 9 月中旬発行予定, 通巻 133 号)
- ・第 29 巻第 4 号(2022 年 12 月中旬発行予定, 通巻 134 号)

第 28 巻第 1 号から J-STAGE 上のオンライン出版に移行しました。また、2018 年 1 月より同期式査読に移行し、すべての通常号の編集を予め設定したスケジュールに従って行っています。これにより「〇月〇日までに投稿すれば△月△日までに必ず採否が決まる」というように日程が保証されています。編集スケジュールは学会ウェブページに掲載しています。

3. 第 28 回年次大会の開催

2022 年 3 月 14 日(月)～3 月 18 日(金)にアクトシティ浜松にて第 28 回年次大会を開催します。昨年度に引き続きワークショップを開催し、5 日間のプログラムとします。限定された人数の参加者が現地会場で活動するハイブリッド開催形式に向けて準備を進めます。今後、社会状況を見ながら、すべての参加者がリモートで参加するオンライン開催に切り替えることもありえます。

4. ニュースレターの発行

原則として、前年と同様の回数と内容で発行予定です。学会のメーリングリストを通じて配布します。これらは、学会のホームページにバックナンバーとして公開します。

5. 会議

◇社員総会

2022 年 3 月の年次大会に併せて、2022 年度社員総会を開催します。予算・決算、学会全体の活動の活性化に向けた施策、関連する研究分野との交流の促進などについて審議、承認します。

◇理事会

昨年度同様に 6 回程度開催します。論文等の電子的公開、年次大会の開催、他学会との連携などについて審議します。

◇編集委員会

編集委員会は、メールによる審議をベースとし、これまで通りの効率的な運営に努めます。会誌をより活性化し、会員にとってさらに魅力的なものとするために、論文の投稿促進施策や、学会記事の企画などを継続的に検討します。

6. その他

自然言語処理技術の産業応用を促進するため、2021 年度に引き続き、産業界向けのセミナーを開催します。

若手研究者への研究発表支援策として、COLING への学生参加旅費支援を実施します。

一般社団法人言語処理学会 予算書

2022年 1月 1日から2022年12月31日まで (2021年11月16日時点予測)

(単位:円)

科 目	2022予算額	2021予算額	2021決算予測	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[12,196,400]	[11,224,000]	[11,636,000]	
正会員受取会費	(8,272,400)	(8,088,000)	(8,032,000)	
正会員当年度	8,144,400	7,912,000	7,904,000	@8,000円×1018名
正会員過年度	48,000	96,000	48,000	@8,000円×6名
正会員(シニア)当年度	80,000	80,000	80,000	@4,000円×20名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(2,024,000)	(1,436,000)	(1,704,000)	
学生会員当年度	2,012,000	1,424,000	1,692,000	@4,000円×503名
学生会員過年度	12,000	12,000	12,000	@4,000円×3名
賛助会員受取会費	(1,900,000)	(1,700,000)	(1,900,000)	
賛助会員当年度	1,900,000	1,650,000	1,900,000	1口50,000円×34口
賛助会員過年度	0	50,000	0	
特殊購読会員受取会費	(0)	(0)	(0)	
特殊購読会員受取会費	0	0	0	
事業収益	[24,765,200]	[20,464,000]	[20,316,630]	
学術研究事業(年次大会)	(21,485,200)	(17,464,000)	(16,961,630)	
年次大会参加費	9,693,000	11,064,000	7,872,000	
年次大会懇親会費	1,177,200	0	0	
年次大会協賛・広告	10,065,000	5,400,000	8,050,000	
年次大会助成・補助	550,000	1,000,000	1,039,630	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,280,000)	(3,000,000)	(3,355,000)	
論文誌広告料	0	0	40,000	
掲載料	3,100,000	2,300,000	3,135,000	
雑誌頒布収益	0	0	0	
産業界向けイベント参加費	180,000	700,000	180,000	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	
雑収益	[118,640]	[73,231]	[118,640]	
受取利息	267	264	267	
雑収益	118,373	72,967	118,373	
経常収益計	37,080,240	31,761,231	32,071,270	
(2) 経常費用				
事業費	[37,378,266]	[23,596,645]	[19,933,232]	
年次大会開催費	(27,378,266)	(17,366,645)	(13,060,059)	
年次大会運営サポート費	15,164,655	8,787,900	8,745,440	
受代代行費	2,431,675	1,648,784	1,431,011	
資料作成費(印刷費)	120,000	158,400	119,130	
コンファレンスバック代	0	0	0	
プログラム委員会費	571,436	596,436	361,908	STARTシステム利用料、ウェブ作業費
年次大会会場費	5,296,780	4,575,609	1,262,335	
年次大会人件費	0	0	0	
年次大会講師謝金等	300,000	400,000	234,120	
論文賞招待旅費	100,000	200,000	0	
代議員会等会議費	0	70,000	0	
表彰関係費	500,000	339,516	462,810	
年次大会懇親会費	2,343,720	0	0	懇親会名産品配送費
実施委員会費	460,000	500,000	141,910	現地視察旅費、実行委員会雑費
託児委託費	0	0	0	
年次大会雑費	90,000	90,000	301,395	講師謝礼ほか
普及啓発事業	(10,000,000)	(6,230,000)	(6,873,173)	
論文誌印刷費	0	0	0	
論文誌通信運搬費	0	10,000	990	
論文誌編集費	3,600,000	2,900,000	3,597,220	
論文誌電子化費用	300,000	120,000	296,450	
編集委員会費	450,000	350,000	458,712	査読・執筆謝礼
編集事務局費	1,200,000	1,200,000	1,147,075	編集事務局給与
特殊購読・雑誌頒布経費	0	0	0	
論文誌活性化支援	500,000	300,000	3,952	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	250,000	250,000	497,100	論文誌の優秀賞の賞金、賞状等
若手研究者等の支援	0	100,000	219,750	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	2,700,000	0	0	
産業界向けイベント開催費	1,000,000	1,000,000	651,924	COLING2016寄付金の活用(2021は無し)
普及啓発事業雑費	0	0	0	IMT分担金等、弁護士相談料
管理費	[4,086,576]	[4,587,974]	[4,161,419]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	(0)	(180,000)	(174,843)	2年ごと(奇数年) 2022年は無し
業務委託費	(3,042,500)	(2,942,500)	(2,942,500)	
学会事務委託費	2,530,000	2,530,000	2,530,000	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	0	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	396,000	396,000	396,000	
社労士報酬	16,500	16,500	16,500	2020から税理士報酬より分離
司法書士報酬	100,000	0	0	理事変更登記、約10万円、2年ごと(偶数年)
会費集金費	(633,482)	(581,744)	(633,482)	
通信運搬費	(47,442)	(43,284)	(47,442)	
租税公課	(244,200)	(673,600)	(244,200)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(42,713)	(47,753)	(42,713)	
HP関連経費	(70,853)	(76,632)	(70,853)	
雑費	(5,386)	(62,461)	(5,386)	総会資料作成費、労働保険料ほか
経常費用計	41,464,842	28,184,619	24,094,651	
当期経常収支差額	-4,384,602	3,576,612	7,976,619	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-4,384,602	3,576,612	7,976,619	

一般正味財産期首残高	56,894,538	58,336,560	56,894,538	
一般正味財産期末残高	52,509,936	61,913,172	64,871,157	

第2号議案 定款の一部変更

以下の通り、定款を変更する。

1. 定款の変更案

定款の第24条第1項第1号に記載されている理事の定員数を修正する。

○変更前

(役員の設置)

第 24 条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 10名以上20名以内

○変更後

(役員の設置)

第 24 条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 10名以上25名以内

2. 変更理由

年次大会の運営の効率化、新しい企画の立案と実施、会員へのサービスおよび理事会運営の効率化が必要とされており、それらの業務を担当する理事の増員が必要となっている。そのため、理事の定員数を現行の20名から25名に増員し、それらの業務に対応する。

新任理事候補者

本総会終結の時をもって理事全員が退任となりますので、理事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
理事	乾 健太郎	東北大学
理事	黒橋 禎夫	京都大学
理事	内山 将夫	情報通信研究機構
理事	宮尾 祐介	東京大学
理事	堂坂 浩二	秋田県立大学
理事	松田 寛	Megagon Labs
理事	柴田 知秀	ヤフー
理事	船越 孝太郎	東京工業大学
理事	二宮 崇	愛媛大学
理事	岡崎 直観	東京工業大学
理事	荒瀬 由紀	大阪大学
理事	須藤 克仁	奈良先端科学技術大学院大学
理事	富士 秀	富士通
理事	藤田 早苗	NTT
理事	大熊 智子	富士フイルム
理事	松原 茂樹	名古屋大学
理事	徳久 良子	豊田中央研究所
理事	賀沢 秀人	Google
理事	村上 明子	損保ジャパン
理事	永田 亮	甲南大学
理事	鈴木 潤	東北大学
		(以上 21 名)

第4号議案

新任監事候補者

本総会終結の時をもって監事 1 名が退任となりますので、監事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
監事	山下 達雄	ヤフー
		(以上 1 名)

2022 年度役員構成予定

役員名	氏名	所属
理事(会長)	乾 健太郎	東北大学
理事(副会長)	黒橋 禎夫	京都大学
理事(編集委員長)	内山 将夫	情報通信研究機構
理事(副編集委員長)	宮尾 祐介	東京大学
理事(大会担当)	堂坂 浩二	秋田県立大学
理事(大会担当)	松田 寛	Megagon Labs
理事(大会担当)	柴田 知秀	ヤフー
理事(大会担当)	船越 孝太郎	東京工業大学
理事(総務担当)	二宮 崇	愛媛大学
理事(総務担当)	岡崎 直観	東京工業大学
理事(渉外担当)	荒瀬 由紀	大阪大学
理事(渉外担当)	須藤 克仁	奈良先端科学技術大学院大学
理事(財務担当)	富士 秀	富士通
理事(財務担当)	藤田 早苗	NTT
理事(広報担当)	大熊 智子	富士フイルム
理事(事業担当)	松原 茂樹	名古屋大学
理事(事業担当)	徳久 良子	豊田中央研究所
理事(企画担当)	賀沢 秀人	Google
理事(企画担当)	村上 明子	損保ジャパン
理事(企画担当)	永田 亮	甲南大学
理事(DX 担当)	鈴木 潤	東北大学
		(以上 21 名)
監事	落谷 亮	富士通
監事	山下 達雄	ヤフー
		(以上 2 名)

2022 年度代議員構成

2020－2023 年度代議員		2022－2025 年度代議員	
飯田 龍	情報通信研究機構	今村 賢治	情報通信研究機構
今一 修	日立製作所	内田 ゆず	北海学園大学
北岡 教英	豊橋技術科学大学	小木曾 智信	国立国語研究所
清田 陽司	LIFULL	梶原 智之	愛媛大学
古宮 嘉那子	東京農工大学	窪田 悠介	国立国語研究所
高瀬 翔	東京工業大学	阪本 浩太郎	BESNA 研究所
竹内 和広	大阪電気通信大学	笹野 遼平	名古屋大学
田中 貴秋	NTT	佐藤 敏紀	LINE
寺岡 丈博	拓殖大学	鈴木 良弥	山梨大学
難波 英嗣	中央大学	建石 由佳	科学技術振興機構
能地 宏	LeapMind	谷口 友紀	富士フイルム
森田 一	富士通	平尾 努	NTT
山崎 智弘	東芝	松本 和幸	徳島大学
山田 一郎	NHK	三輪 誠	豊田工業大学
吉野 幸一郎	理化学研究所	谷津 元樹	青山学院大学
計15名		計15名	